

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 21 日現在

機関番号：64401

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2020～2022

課題番号：20H04414

研究課題名（和文）装飾文化からみたアフリカ史の再構築に関する研究

研究課題名（英文）Re-evaluating African history through the study of ornament culture

研究代表者

池谷 和信（Ikeya, Kazunobu）

国立民族学博物館・人類文明誌研究部・教授

研究者番号：10211723

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 8,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、ビーズをとおりてアフリカの文化的地域性をみると同時に近現代におけるその歴史的変遷を把握することから、地域社会の視点からアフリカ史を新たに構築することを目的とした。調査は、古文書調査や現地での観察や聞き取りに基づいている。アフリカのビーズは、時代と地域に応じて素材や社会的な役割が異なっていた。また、多様な社会のなかでガラスビーズがそれぞれ位置づくことで新たに文化が創造されていた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまでアフリカ地域は、無文字社会が多いこともあって文献史学ではヨーロッパからみて未開な地域、文化の遅れた地域としてみなされてきた。しかしながら、ビーズ文化に焦点を当てる本研究によって、アフリカ社会は新たなビーズ製品をつくり新たな利用法も開発するという文化の創造力を保持することを示すことができた。また、これらの成果は、アフリカ史のなかで軽視されてきた社会史を補うという学術的な意義があるのみならず、世界のなかでのアフリカの特性を位置づけて真のアフリカの地域像を紹介する社会的な意義を持っている。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study was to construct a new history of Africa from the perspective of local communities by looking at the cultural regionality of Africa through beads and at the same time understanding its historical transition in modern and contemporary times. The research is based on archival research, field observations, and interviews. African beads had different materials and social roles depending on the period and region. In addition, a new culture was created through the positioning of glass beads in each of the diverse societies.

研究分野：地域研究

キーワード：ビーズ アフリカ 装飾 美の追求 アフリカ史 交易

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

(1) 西洋中心の歴史観に基づくのではない地域と地域の関係に注目：これまでのアフリカの地域研究では、文献資料の残存状況に影響を受けて植民地時代から現代までの経済史や政治が研究の中心であった。それらは、当時の植民地の行政や経済などのマクロな資料が中心であり、庶民の歴史に焦点を当てたものは多くはない。ここでは、装飾文化のなかでビーズに注目することで、当時の庶民における装飾文化の状況や交易の歴史、ガラスビーズの製作地であるヨーロッパとアフリカの関係のあり方を知ることができる。

(2) 地域間比較の方法の展開：これまでのアフリカ地域研究では、政治や経済の側面を中心にして各国や個々の地域の事例が蓄積されてきたが、アフリカ内の地域間比較の方法からアフリカ全体をとらえることはなかった。ここでは、ケニアやタンザニアの東アフリカ、カメルーンやナイジェリアの西アフリカ、そしてボツワナのような南部アフリカの事例を比較する。

2. 研究の目的

本研究は、ビーズ文化をとおしてアフリカの文化的地域性をみると同時に近現代におけるその歴史の変遷を把握することから、地域社会の視点からアフリカ史を新たに構築することを目的とした。具体的には、ビーズの素材とその入手方法（自給か購入かの区別）、ビーズの受け入れとその社会的意味、ビーズ利用の歴史の変遷（近現代）の3点から、アフリカを対象としてビーズ文化の現在と歴史の変遷を把握する。なお、ビーズとは、草の実、ダチョウの卵殻、貝殻、鉄、ガラスなどの素材をつないだものとして定義する。また、装身具として人を飾るのみならず、仮面や帽子などのようにものを飾るものもビーズのなかに含める。

本研究は、ビーズ文化をとおしてアフリカの文化的地域性をみると同時に近現代におけるその歴史の変遷を把握することから、地域社会の視点からアフリカ史を新たに構築することを目的とした。具体的には、ビーズの素材とその入手方法（自給か購入かの区別）、ビーズの受け入れとその社会的意味、ビーズ利用の歴史の変遷（近現代）の3点から、アフリカを対象としてビーズ文化の現在と歴史の変遷を把握する。なお、ビーズとは、草の実、ダチョウの卵殻、貝殻、鉄、ガラスなどの素材をつないだものとして定義する。また、装身具として人を飾るのみならず、仮面や帽子などのようにものを飾るものも含める。

3. 研究の方法

上述のテーマを把握するために村スケール、地域スケール、大陸スケールという3つの空間スケールを設定してアフリカにおけるビーズ文化の地域性とビーズ利用の歴史の変遷を把握した。村スケールでは、身のまわりの自然素材でビーズをつくる一方でガラスビーズを導入してきた村が多い。現地調査によって多様な素材のビーズの社会的役割が把握される。地域スケールでは、ローカル交易と鉱物や貝殻やガラスビーズとの関係に注目する。これもまた現地調査に基づくものであるが19世紀以降の歴史の変遷をみるには、タンザニアの場合ではベルギー中央王立アフリカ博物館所蔵の文献資料の利用が欠かせなかった。

4. 研究成果

(1) アフリカのビーズ研究では、ビーズ製品の製作者（ビーズ職人）、ビーズに関わる交易を担う仲買人、ビーズ製品の利用者に注目することが、アフリカのビーズ文化の全体をみるうえで有効であることが把握された。また、アフリカの諸社会のなかでどのビーズ素材でどの色を選ぶのか否かは、民族や個々人に応じて違いが存在することが認められた。

(2) 19世紀の東アフリカ内陸部のビーズ利用では、地域ごとに異なる種類のビーズが交換媒体の機能を果たしていたのであり、地域全体に共通するビーズというものはなかった点、交換媒体の機能を担う物質というのは、ビーズのほかに銀貨や綿布などがあることが明らかにされた。（鈴木 2023）

(3) 東アフリカのサンプル社会では、ビーズをとおして自らの美意識を表現したり、通過儀礼の状況や恋人からの贈与品を示すなど、ビーズはさまざまな人間社会を反映させていたことが

現地調査によって明らかにされた。同時に、ガラスビーズは、民族間の差異を表現するのに使われるだけでなく、民族内部における地位の差異を表現するのにも用いられている。(中村 2022、2023)

(4) 西アフリカのカメルーンでは、高地で首長国をつくってきたバミレケ、北部のイスラームの人々、東部の森に暮らすピグミー系狩猟採集民ではビーズ利用において使用される素材や社会的役割などに地域性が存在することが明らかにされた。同時に、近年では中国製のシェブロン玉(もともとはイタリアのヴェネチア産)が導入されるなど、素材の多様化が進んでいることが把握された。(戸田 2023)

(5) 西アフリカのナイジェリアでは、伝統的な首長国の王様がビーズを帽子や杖などで利用してきた。同国の南東部に暮らすヨルバ社会の多くでは、世襲制によって継承されたビーズ職人が存在する。本研究では、彼らのつくる作品、とくに世界で最大級のビーズ製の人像がつくられていたことが明らかにされた。その流通は不明な点が多いが、地域で利用されるよりは、地域外で工芸品として販売されていた。

(6) 以上のようにアフリカ内のビーズ利用の地域的多様性は把握されたが、ビーズの歴史の変遷をみると、各地域での現地調査の結果に加えて多数の文献を組み合わせてみると「先史時代」、「歴史時代」、「近現代」という3つの時代にアフリカのビーズ文化を分けることができた。また、世界のなかでのアフリカのビーズ製品の特徴としては「多様化」と「巨大化」を指摘することができた。これらの知見は、ビーズはアフリカの人々が豊かな創造力を生み出す源泉であること、長期間にわたる社会の動態に対してビーズは柔軟に対応できる力をもって存在しつづけたことを示している。(池谷 2023a)

(7) アフリカのビーズ研究はガラスビーズ生産地のイタリア・ヴェネチアやチェコのボヘミアなどのアフリカ地域以外とのつながりの視点が重要であり、経済史や社会史を統合する視点が欠かせないものであるとまとめられる。同時に、アフリカ以外の東南アジアや日本のアイヌのビーズとの比較によって、近現代においてガラスビーズに特化していくアフリカビーズ文化の特徴が明らかにされた。(池谷 2023b)

引用文献

- 池谷和信 ビーズからみた新たなアフリカ文化史。季刊民族学 185 2023a 4 - 13。
池谷和信 世界に発信するアフリカンビーズ。季刊民族学 185 2023b 57 - 63。
鈴木英明 スタニリのビーズ - 19 世紀アフリカ大陸東部の探検、交易、植民地支配。季刊民族学 185 2023 26 - 31。
中村香子 記憶装置としての首飾りのビーズ - アフリカの牧畜民サンプル - 。池谷和信編 アイヌのビーズ - 美と祈りの2万年 -、2022 260 - 271。
中村香子 サンプルの恋愛とビーズ装飾。季刊民族学 185 2023 32 - 37。
戸田美香子 ガラスビーズとアフリカ。池谷和信編 アイヌのビーズ - 美と祈りの2万年 -、2022 272 - 275。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計26件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 6件）

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 185
2. 論文標題 ビーズからみた新たなアフリカ文化史	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 4-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 185
2. 論文標題 世界に発信するアフリカンビーズ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 57-63
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 39
2. 論文標題 アフリカのダチョウと人とのかかわり	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ビオストーリー	6. 最初と最後の頁 49-54
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村香子	4. 巻 185
2. 論文標題 サンプルの恋愛とビーズ装飾	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 32-37
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木英明	4. 巻 185
2. 論文標題 スタンリのビーズ 19世紀アフリカ大陸東部の探検、交易、植民地支配	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊民族学	6. 最初と最後の頁 26-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 -
2. 論文標題 二万年のビーズアイランド	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 池谷和信編 『アイヌのビーズ-美と祈りの二万年』	6. 最初と最後の頁 22-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 -
2. 論文標題 「文化圏」の視点でみるアイヌのビーズ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 池谷和信編 『アイヌのビーズ-美と祈りの二万年』	6. 最初と最後の頁 195-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 -
2. 論文標題 明治・大正・昭和時代の北海道のタマサイ 玉の素材、飾り方、役割	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 池谷和信編 『アイヌのビーズ-美と祈りの二万年』	6. 最初と最後の頁 132-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 -
2. 論文標題 アイヌのビーズを展示する 国立アイヌ民族博物館特別展（二〇二一）の事例から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 池谷和信編『アイヌのビーズ—美と祈りの二万年』	6. 最初と最後の頁 152-157
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 -
2. 論文標題 狩猟採集民の生存戦略 移動と環境適応	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 稲村哲也・山極壽一・清水展・阿部健一編『レジリエンス人類史』	6. 最初と最後の頁 227-242
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Francesca Bigoni, Hideyuki Tanabe, Kazunobu Ikeya and Atsushi Nobayashi	4. 巻 15
2. 論文標題 Integrated Anthropology: a dialogue between subdisciplines and museums	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Museologia Scientifica	6. 最初と最後の頁 89-95
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 35
2. 論文標題 アフリカ先住民と生き物 ジェネラリストとスペシャリスト	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ビオストーリー	6. 最初と最後の頁 25-29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木英明	4. 巻 63(2)
2. 論文標題 付度する帝国 20世紀前半のペルシア湾地域におけるイギリス非公式帝国と奴隷解放証明書の交付	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 オリエント	6. 最初と最後の頁 111-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鈴木英明	4. 巻 36
2. 論文標題 インド洋海域世界 ヒトの移動が形作る歴史世界	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ピオストーリー	6. 最初と最後の頁 66-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hideaki Suzuki	4. 巻 73
2. 論文標題 Between Ushenzi/Ujinga and Ungwana: Slavery in Transitioning East African Coastal Urban Society in the 19th Century	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko	6. 最初と最後の頁 43-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24739/00007484	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木英明	4. 巻 --
2. 論文標題 アフリカを彩るインド産プリント布カンガ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 上羽陽子・金谷美和編『躍動するインド世界の布』	6. 最初と最後の頁 98-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hideaki Suzuki	4. 巻 -
2. 論文標題 Revisiting Corruption Theory on the Indian Ocean World: A Case Study of Slave Trade in the 19th Century Western Indian Ocean	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Shigeru Akita, Hong Liu and Shiro Momoki (ed.) Changing Dynamics and Mechanisms of Maritime Asia in Comparative Perspectives (Palgrave Studies in Comparative Global History)	6. 最初と最後の頁 101-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki Hideaki	4. 巻 -
2. 論文標題 The Suppression of the Transoceanic Slave Trade	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Oxford Research Encyclopedia of African History	6. 最初と最後の頁 1-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/acrefore/9780190277734.013.938	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村香子	4. 巻 -
2. 論文標題 「記憶装置」としての首飾りのビーズアフリカの牧畜民サンプル	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 池谷和信編 『アイヌのビーズ-美と祈りの二万年』	6. 最初と最後の頁 260-271
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 戸田美佳子	4. 巻 -
2. 論文標題 ガラスビーズとアフリカ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 池谷和信編 『アイヌのビーズ-美と祈りの二万年』	6. 最初と最後の頁 272-275
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池谷和信	4. 巻 -
2. 論文標題 アジアの新人文化における装身具について マレー半島の狩猟採集民の事例	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 野林厚志『パレオアジア文化史学 B01班 2020年度 研究報告書』	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikeya, Kazunobu and Pothisarn Chumpol	4. 巻 106
2. 論文標題 The dispersal of prehistoric hunter-gatherers and the roles/materials of beads: An ethno-archaeological approach	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 K. Ikeya and Y. Nishiaki (eds.) Hunter-Gatherers in Asia: From Prehistory to the Present, Senri Ethnological Studies	6. 最初と最後の頁 93-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ikeya, Kazunobu	4. 巻 150
2. 論文標題 History of Human Culture Reflected in Beads: the Bead Research Framework	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Archivio per l' Antropologia e la Etnologia	6. 最初と最後の頁 171-183
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki, Hideaki	4. 巻 77
2. 論文標題 The Birth of a Node: Nosy Be as a French Protectorate and Trade Networks	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Memoirs of the Research Department of the Toyo Bunko	6. 最初と最後の頁 87-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鈴木英明	4. 巻 134(7)
2. 論文標題 アフリカを彩った日本製カンガの旅 『メイド・イン・ジャパン』から立ち上がるグローバル・ヒストリー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 中央公論	6. 最初と最後の頁 172-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村香子	4. 巻 -
2. 論文標題 「未婚」「非婚」そして「結婚」－サンプル女性の自律と出自集団への帰属	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 大塚 柳太郎 『生態人類学は挑む SESSION 1 動く・集まる』	6. 最初と最後の頁 227-254
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計9件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 4件）

1. 発表者名 Kazunobu IKEYA
2. 発表標題 Glass Beads and the World System
3. 学会等名 Global Mediterranean at the National Museum of Ethnology “Glass Beads Changed the World: Production, Trade and Pursuit of Beauty” (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Kazunobu IKEYA and Tomoya YAMAZAKI
2. 発表標題 Creativity in Pursuit of Beauty
3. 学会等名 Global Mediterranean at the National Museum of Ethnology “Glass Beads Changed the World: Production, Trade and Pursuit of Beauty” (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 池谷和信
2. 発表標題 ナイジェリアの都市におけるビーズ製作について
3. 学会等名 日本アフリカ学会第60回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 池谷和信
2. 発表標題 ダチョウと人とのかかわり 肉・卵・羽根
3. 学会等名 生き物文化誌学会第19回学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Hideaki SUZUKI
2. 発表標題 Beads as currency but it is fragile: Grass-beads trade in the 19th century East Africa
3. 学会等名 Global Mediterranean at the National Museum of Ethnology “Glass Beads Changed the World: Production, Trade and Pursuit of Beauty” (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 鈴木英明
2. 発表標題 19世紀アフリカ大陸東部のビーズ交易 - ベルギー王立中央アフリカ博物館所蔵資料をもとに -
3. 学会等名 日本アフリカ学会第60回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中村香子
2. 発表標題 ケニアの牧畜社会におけるガラスビーズの利用 サンプルとポコットの首飾りを事例に
3. 学会等名 日本アフリカ学会第60回学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Mikako TODA
2. 発表標題 Bead Culture Transition in Cameroon Ecosystem
3. 学会等名 Global Mediterranean at the National Museum of Ethnology “Glass Beads Changed the World: Production, Trade and Pursuit of Beauty” (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 池谷和信
2. 発表標題 キリンとラクダ：アフリカの先住民の世界
3. 学会等名 生き物文化誌学会第79回例会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 池谷 和信	4. 発行年 2022年
2. 出版社 平凡社	5. 総ページ数 288
3. 書名 アイヌのビーズ 美と祈りの二万年	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	戸田 美佳子 (Toda Mikako) (20722466)	上智大学・総合グローバル学部・准教授 (32621)	
研究分担者	中村 香子 (Nakamura Kyoko) (60467420)	東洋大学・国際学部・准教授 (32663)	
研究分担者	鈴木 英明 (Suzuki Hideaki) (80626317)	国立民族学博物館・グローバル現象研究部・准教授 (64401)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 International Symposium Glass Beads Changed the World: Production, Trade and Pursuit of Beauty	開催年 2024年～2024年
--	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関